




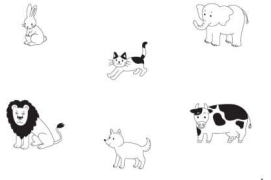
3歳児クラス 5月 第2回 「ふってきました」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	動物が空から降ってくる場面は、擬音や声の強弱を意識し「どかし〜ん」「どずずん」などの擬音をダイナミックに表現し盛り上げる。また降ってきたあとの優しい会話とのギャップを楽しむ。	教材	  
		★絵本 ★iPad(シアターセット)	
導入	「♪落ちた落ちた」の手あそびを楽しみ、空から色々なものが落ちてくるお話に興味を持たせてから読み始める	保育士の役割	
		子どもたちと一緒に なってストーリーや 会話を楽しむ	

がくしゅうタイム

活動①	ねらい 想像力	部分を見て何の動物かを想像する（全体把握）	
設問	「何が降ってくる？」赤いクレヨンを使って○で囲みましょう。		教材
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「もし、おすもうさんが空から降ってきたらどうする？」「もし、おいしいアメが降ってきたら？」などインタビュー 保：「お手紙が届いてますよ」とプリントの入った封筒を届ける。 		P1 動物カード 6種 くもカード
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：中を確認「クイズが届いているよ。チャレンジする？」「やりたい人！」意欲を引出しプリント、クレヨン配布。 講：子どもと一緒にプリントの動物名称確認。以下の要領でクイズを進行する。 <ul style="list-style-type: none"> ①提示用動物カード一枚とくもカード重ね、身体の一部を見せて提示。 例「うさぎの耳の先」「ぞうの鼻の先」 ②「♪降ってくる♪降ってくる♪何が降ってくる？」とクイズを出し考えさせる ③「これ！と思うものに赤いクレヨンを使って○で囲みましょう」 ④「正解は…」「しゅー、ドドン」とくもカードから隠したカードを落とし「○○でした」と正解を確認。「ピンポン！」とはなまるやスタンプで賞賛。 ※同様にカードを変え問題を繰り返す。動物を逆さまにしたりしっぽや足の先を見せるなど難易度を上げる。また部分を見せずに素早く動物カードを降らせ何の動物だったか当てさせるのも変化があって楽しい。 講：クイズチャレンジできたことを賞賛。プリント回収。 		保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> プリントの入った封筒届ける。 プリント、クレヨン配布。 一緒になってクイズを楽しむ クイズの答え方や○の仕方が解らない子のフォロー 賞賛
活動②	ねらい 巧緻性	作り方・遊び方を理解して楽しむことができる	※活動動画参照
設問	くるくるリボンを作ってくるくる空から降らせてみましょう		教材
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「もっと何か降ってこないかなー」と天井を見上げる 保：「降ってきました…」「くるくる…くるくる…」とくるくるリボンを数個降らせる。 		紙テープ 水・桃・黄各1枚 (講師用紙テープ 各10枚)
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「わーくるくる降ってきたよ。何だろー」とリボンを拾い真似して降らせる。∞の形のテープを子どもに見せ興味を持たせる。 講：「くるくる回って面白いね。先生もほしいなー」 保：「いいよー」「自分で作ってみてね」と紙テープを提示。 講：「何か変だね」とテープを降らせ、その落ち方の違い、形の違いを比較。どこが違うか気づかせる。 講：子どもたちのことばを受けながら製作の見本行動。 <ul style="list-style-type: none"> ①紙テープを輪にしてセロテープで止める ②真ん中あたりを優しくつぶして∞の形にしてセロテープで止める。 ③完成したリボンを降らせくるくる回ることを確認。 		★セロテープ ※提示用に各色2枚計 6個のくるくるリボン を作っておく

<ul style="list-style-type: none"> 保：紙テープ、セロテープを配布。 子：作り方を理解して製作。 <ul style="list-style-type: none"> ※紙テープを持ちながらセロテープが切りにくい場合はフォローする。また短くセロテープを切って機のヘリ等に仮止めしておく方法も少しずつ伝えていけると良い。 完成したリボンを実際に降らせてその動きを楽しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ※安全に留意。(できれば机・椅子を片付けるなど広いスペースを確保できるとなお良い)。 ※きれいな回り方など話し合いながら進める。 ※つぶしてしまったり切れてしまったら予備のものを使用する。 講：「楽しかったね。お家でも降らせて見せてあげましょう」と期待感を持って終了。 	<p style="text-align: center;">保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> リボンを降らせて提示 紙テープ提示 紙テープとセロテープを配布 製作フォロー
---	---

<p>数子ヤレ</p>	<p style="text-align: center;">ねらい</p> <p style="text-align: center;">比較</p>	<p>5対4のお皿を見比べて、多い方を指さす</p>	<p style="text-align: center;">教材</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">設問</p>	<p>くらべっこ！どちらが多い？（5対4）</p>		<p>おはじき 皿</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">活動内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> 講：前回同様、見本行動。「♪くらべっこ♪くらべっこ、こっち（5こ）とこっち（4こ）どっちが多い？」リズムに乗せ楽しくクイズ形式で出題。 保：お皿をぱっぱと見比べて、多い方を「こっち！」と指さす。 繰り返ししっかり比較させて「多い=いっぱい」を理解させていく。 		<p style="text-align: center;">保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 答える見本行動。二つの皿を比べて「こっち」と指さす。 皿を持って比較させていく。